



No.3367

第3685回例会  
令和3年1月27日OBIHIRO ROTARY CLUB  
DISTRICT 2500

方針「ONE TEAM」

会長 長澤 秀行

2020-21年度国際ロータリーのテーマ ロータリーは機会の扉を開く

## ■会長報告



長澤 秀行 会長

先週、第5回クラブ協議会をオンラインで開催し、各委員会の中間報告をしていただきました。コロナ禍で、取り組みが当初の予定通りには進まない中、それぞれ工夫をしていただき、上期が無事終了し下期へと移行しています。理事、役員、委員会委員長、副委員長、すべての会員の皆様へ感謝申し上げます。コロナの状況にもよりますが、年度末最終夜間例会は蓄積されたフラストレーションを一気に発散して、盛大に開催したいと思います。

本日のプログラムは、米山記念奨学委員会が担当です。奨学生選考委員会の讃岐武史委員長からロータリー米山記念奨学事業について紹介があります。そこで、私がロータリークラブに入って良かったなぁと最初に思った時の話をしたいと思います。米山学友のモンゴルのジャンチブ・ガルバドラッハさんとの出会いについてです。

私がロータリークラブに入会したのは2008年3月です。それから、4年後の2012年7月にモンゴル・ウランバートルを訪問する機会がありました。到着直後、水がほしくてホテルのフロントに行きましたが、言葉が通じません。到着直後で現地のお金の持ち合わせもなく困っていたら、ロビーにいたモンゴル人が、「水がほしいですね。」と言って、水を買って私にくれました。「どちらからお出でですか?」と聞かれたので、「北海道の帯広からです。」と答えると、「帯広からです。では、讃岐さんと渡辺さんをご存じですか?」

ジャンチブさんは米山学友でした。山形大学と東北大学に在籍していた時に、「娘たちが通った日本の小学校、中学校、高校の教育システムには感動しました。」ということで、帰国後に日本式の教育システムを母国で広めたいと思い、新モンゴル高校を設立しました。その後、中学校、小学校、高専、工科大学、幼稚園も設立し、小中高一貫校で人材育成を進めています。2015年のIMでは、帯広に来て講演をしています。現在は、名古屋大学大学院博士課程(教育学)に在籍し、さらに研鑽を積んでいます。夢は、モンゴルからノーベル賞受賞者を出すことだそうです。

米山記念奨学会への寄付は随時受け付けていますので、引き続きよろしくお願い致します。皆さんも、どこかで、米山学友に助けてもらうことがあるかもしれません。

## ■プログラム

(米山記念奨学委員会)

「ロータリー米山記念奨学事業の現況」

RI第2500地区米山記念奨学会運営委員会

奨学生選考委員長 讃岐 武史 会員



こんにちは。RI第2500地区米山記念奨学会運営委員会、奨学生選考委員長の讃岐です。もう地区では米山委員として14年目になりました。過去に地区委員長を3年、ロータリーの第一ゾーン(北

海道・東北6県、新潟、群馬、栃木、茨城、千葉と埼玉北部を合わせた地区)の代表で、公益財団法人ロータリー米山記念奨学会の委員を2年ほど勤めました。2500地区の会員の中では最も古い委員です。今日は改めて奨学会のお話をさせていただきますので、パワーポイント資料をご覧になりながら、暫しご清聴下さい。



## 元RI会長ビチャイ・ラタクル氏

2012年5月6日  
バンコク「米山ナイト」にて  
聡明な若者達は、日本での卒業後、母国に戻り、どのような地位や状況であろうとも、日本で学んだ事柄、米山奨学生の仲間また日本のロータリアンとの友情は、心にいつも残っています。まさに、親睦、友愛関係、人と人との理解、協調性の促進であります。

この若者たちは、真の日本の親善大使であります。彼らは私たちの将来です。母国のみでなく、世界への親善大使であることを期待いたします。  
米山奨学生はわかっています。  
日本は規律正しく、礼儀正しく、時間厳守である、正直そして勤勉な人たちが住んでいる国である事をわかっています。

## 今日、覚えて頂きたいこと

日本ロータリーには  
世界に誇る合同国際  
奉仕事業があります

## (財)ロータリー米山記念奨学会

日本で学ぶ外国人留学生に奨学金を支給し心と心の交流を通して、将来、日本と世界とを結び懸け橋となる人材を育成。

ロータリーが目指す世界の親善と平和へつなげる事業

## 米山奨学事業の概要

日本のロータリー独自の事業  
(日本全国34地区の合同活動)  
日本で学ぶ外国人留学生の支援  
(公益財団法人を設立し運営)  
世話クラブ・カウンセラー制度で交流を重視

(財)ロータリー  
米山記念奨学会  
の歴史  
「受け継いだ宝物」

## 米山梅吉翁の遺徳を讀んで

- 1946年4月28日米山梅吉翁78歳で逝去
- 1949年日本、国際ロータリー復興
- 1952年東京RC会長古澤文作氏が「米山基金」の試案を発表。(1928年大連宣言起草者)「これ実に翁の生前意図されたロータリー事業の一つであり、翁の遺徳を讀むる無形の金宇塔となさん」

## 奨学事業の全国展開

- 1956年東日本の二つの地区大会で決議。「ロータリーの国際奉仕として最もふさわしい金で、あつて、その連続性が望ましい、財団法人として全国的な組織となすべきことを茲に決議する」

- 1957年全国組織「ロータリー米山奨学委員会」初代委員長兼RI理事小林雅一氏



## 国際ロータリーからの賞賛

- 1956年の二つの地区大会の会長代理は1954-55年度のRI会長、「四つのテスト」のハーバート・テラー氏。



- 第60地区の大会の挨拶で米山事業に触れ、東京RCの功績を讀んで感謝の意を表した。

## 1956年第60地区大会での挨拶

- 「あの立派な奨学金制度のことです。私は、その奨学金によって日本に勉強に来られた二人の青年にも会いましたが、この立派な仕事に対し、深く感謝いたします。」ハーバート・テラー

## 事業のはじまり

- 1946年 米山梅吉氏逝去
- 1949年 日本のロータリーが国際ロータリーへ復帰
- 1952年 東京RCが事業構想「米山基金“平和と日本”を世界へ(日本の友人を増やし平和を實踐する人材を育てる)」
- 1957年 日本全国の組織へ
- 1967年 財団法人設立





**国際ロータリーと米山**

- 2002 ロータリー研究会のプログラムに
- 2004 R I 理事会で米山記念奨学事業が賞賛
- 2007 ロータリーの多地区合同活動としての手続きを完了
- 2014 国際ロータリーが学友の定義拡大、米山学友も「ロータリーの学友」
- 2016 7月国際大会で初の分科会開催

**米山奨学金と奨学生**

**学友会の活動【海外】**

台湾：日本人奨学支援12年目  
韓国：日本人奨学支援5年目  
マレーシア：学友会バースン  
スリランカ：活動キャンプ

**学友からロータリアンに**

●239人 台湾 82人 韓国 68人 中国 48人 その他 41人  
●ガバナーになった学友：3人

林 隆義氏 (韓国) 1997-98年度 RID3650  
許 國文氏 (台湾) 2005-06年度 RID3490  
林 華明氏 (台湾) 2015-16年度 RID3520

**国内最大級の奨学生数**

2020年度 883人 累計21,624人  
新規614人 / 継続269人 129の国と地域

中国 38.6% 韓国 21.2% 台湾 16.3% 中国 34.2%  
その他 15.7% 中国 10.1% 韓国 4.7% 台湾 5.3%  
マレーシア 4.1% 中国 8.3% 韓国 13.7%  
マレーシア 5.5%

**出身国別奨学生数 2020学年度**

中国	7,405人	34.2%
韓国	4,592	21.2%
台湾	3,527	16.3%
ベトナム	1,149	5.3%
マレーシア	1,007	4.7%
インドネシア	463	2.1%
その他アジア	2,264	7.6%
アジア合計	20,407	94.4%
全世界	21,624	100.0%

**恩返し気持ち** 学友からの寄付

東日本大震災 約760万円  
熊本地震 約20万円(上海)  
学友からの寄付 累計3,768万円  
遺言寄付 200万円

・2019年度は学友から約180万円 (うち98万円は創立10周年を迎えた東京米山友愛RCなどのロータリアン学友から)  
・毎月1万円、毎月2,000円などコツコツ継続寄付する学友も

**ご清聴ありがとうございました**

**奨学生数の決定と選考**

採用基準 (全国統一)

- ・勉学への意欲、人物面・学業面が優秀、将来日本との懸け橋になりうる人材

将来の目標 熱意 交流への意欲 人間性 ションケー 地区裁量

**コロナ禍への対応と交流**

・奨学会の対応

■日本へ入国できない奨学生

- 毎月、「奨学生報告書」の提出を求める
- カウンセラーとの密な連絡、オンラインでの例会
- 参加を推奨

■世界を飛び越えての奨学生

- 例会会場以外の場でクラブから奨学金を手渡し
- カウンセラーとの密な連絡を推奨

**My Road To Rotary「はじめに」(抄)**

- ・ロータリーとは何か？百人百様の答えをしていますが、ロータリーが何かであるより、ロータリーが何をしているのかを語るほうが簡単です。
- ・最近こんなことを言った人がいます。
- ・「もしも、ロータリーが人間とか人生というものを、一層温かい目で眺める (kindly outlook) ように我々を導いてくれるなら、
- ・もしも、ロータリーがお互いの長所をみとめるために我々がより一層寛容で熱意 (greater tolerance and the desire) を持つように教えてくれるなら、

**My Road To Rotary 1947 序文(抄) 続き**

- ・もしも、ロータリーが人生の楽しさと美しさ (joy and beauty of life) を発見して、それを広げようとしている同志相互の親善の場であるならば、
- ・ロータリーは我々の望みをすべて叶えてくれる (Rotary has brought us all that we can expect.)」

(ポール・ハリス「ロータリーへの道」三訂版、柴田 寛訳 RID2790 成田ロータリークラブ発行)

**寄付金の状況**

**2019年度寄付実績 個人平均**

●平均寄付額 6,145円 (前34年)

全国平均 15,055円 (前34年)

**■会務報告 小水 基弘 幹事**

- ①7RC合同例会(2/18)は中止となりましたので、お知らせ致します。
  - ②第6分区IM(3/27)は、中止となりましたので、お知らせ致します。
  - ③各RC、2月の例会状況のお知らせ
- ・帯広南RC、2/15(月)、2/22(月)のみ短縮例会で開催致します。
  - ・帯広東RC、2/9(火)のみ短縮例会で開催致します。
  - ※2/23(火)は、祝日のため休会と致します。
  - ・帯広西RC、zoom例会にて開催致します。
  - ※2/11(木)は、祝日のため休会と致します。
  - ・帯広北RC、2月は休会と致します。

**■委員会報告 (各委員会)**

**・青少年育成委員会 合田理事**

ローターアクトの件に関してのご報告です。例年実施しております氷まつりでの雪像づくりですが、今年は中止になり、その代わりにクリスタラントTOKACHI SNSキャンペーンにエントリーしたとのことです。

**■ニコニコ献金 (親睦活動委員会)**

**中森 保 会員**

長い間欠席して申し訳ございません。これからはできる限り出席します。よろしくお願いします。

**及川ゆかり 会員**

本日は例会を担当いたします。

**■出席報告 (出席委員会)**

1/27例会の報告 会員総数89名 内免除会員2名  
出席者数52名 内出席免除会員0名 内Zoom9名  
出席率59.8%

**■次週プログラム予定**

2月3日(水)「北海道スカイアース活動報告および広報活動について」  
(広報委員会)

**ご寄付は奨学事業に**

・寄付は前年度から7,500万円減

収入 寄付金総額：13億3,600万円 配当金 90,000円 剰余金 48,679円  
普通寄付金 425,036 特別寄付金 911,285 当期正味財産増減額 33,183円

支出 事業費計：14億6,200万円  
奨学金 1,240,413 補助費 221,980 管理費 45,790円(前年度比)

剰余金>管理費 管理費は支出のわずか3%

**巣立った米山奨学生**

**元米山奨学生の活躍【1】**

**大佛次郎論壇賞を受賞した学友**

朴 裕河(ハクユハ)氏  
世宗大学副教授。著書『和解のために』で第7回大佛次郎論壇賞を受賞。日韓両国が抱える課題を解決するには国民同士の理解が必要と呼びかける。2004年、日韓交流基金賞を受賞。

**元米山奨学生の活躍【2】**

**中国に投資する日本企業のために**

堀 軍(ジジュン)氏  
北京で弁護士として活躍。中国米山学友会初代会長、第三代会長。  
「恩返しに」と、米山奨学会へ5年連続、計320万円を寄付。

**学友会(国内33、海外9)**

2014 モンゴル 韓国 日本国内:33  
2009 中国 1000  
2013 ネパール 1000  
2012 タイ 1000  
2011 スリランカ 1000  
2010 台湾 1000  
2009 マレーシア 1000  
2008 ミャンマー 1000

**学友会の活動【国内】**

2640：お祭りマラソン  
2750：カンボジアの教育支援  
2660：RACとともに和食文化体験  
2760：ロータリー学友と協力して

↑携帯サイトができました。  
バーコードリーダーで読み込む事ができます。

例会日 / 水曜日 12:30 ~ 13:30 例会会場 / ホテル日航ノースランド帯広 TEL0155-24-1234

- 創立 / 昭和 10 年 3 月 15 日 ●認証番号 / 3820 ●戦後再開 / 昭和 25 年 12 月 19 日
- 事務局 / 帯広市西 3 条南 9 丁目 経済センタービル 3F TEL0155-25-7347 FAX0155-28-6033
- 発行 / クラブ広報
- 委員長 / 進藤 敦史・副委員長 / 角 健太郎・梶野宗一郎
- 委員 / 山崎 育子・新沼 彰人・木村 尚志・坂野 奨・板谷 圭佑
- ホームページアドレス <http://www.obihiro-rc.jp>